

2026年3月期 第2四半期 決算説明資料

2025年11月6日

 **ソーダニッカ株式会社**（証券コード：8158）

決算サマリー

- 売上高/営業利益：エレクトロニクス向けならびに自治体向け無機薬品や、日用品業界向けトイレタリー関連商品の受注好調が寄与し増収
- 中間純利益：投資有価証券売却益が前年同期比で減少となり減益

(単位：百万円)	2025/3月期 第2四半期	2026/3月期 第2四半期	増減額	増減率
売上高	31,749	32,935	+ 1,186	+3.7%
売上総利益	4,416	4,714	+ 298	+6.7%
販売費及び一般管理費	3,282	3,526	+ 244	+7.4%
営業利益	1,134	1,187	+53	+4.7%
経常利益	1,309	1,424	+115	+8.8%
親会社株主に帰属する 中間純利益	1,324	1,205	▲119	▲9.0%

セグメント別 決算サマリー

化学品事業

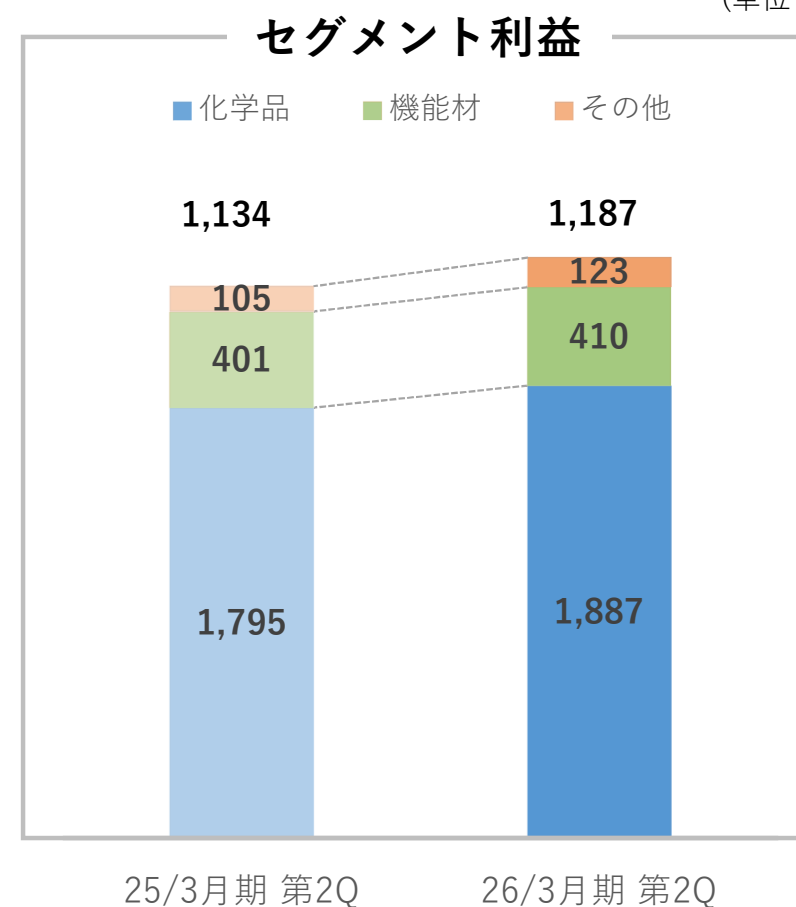
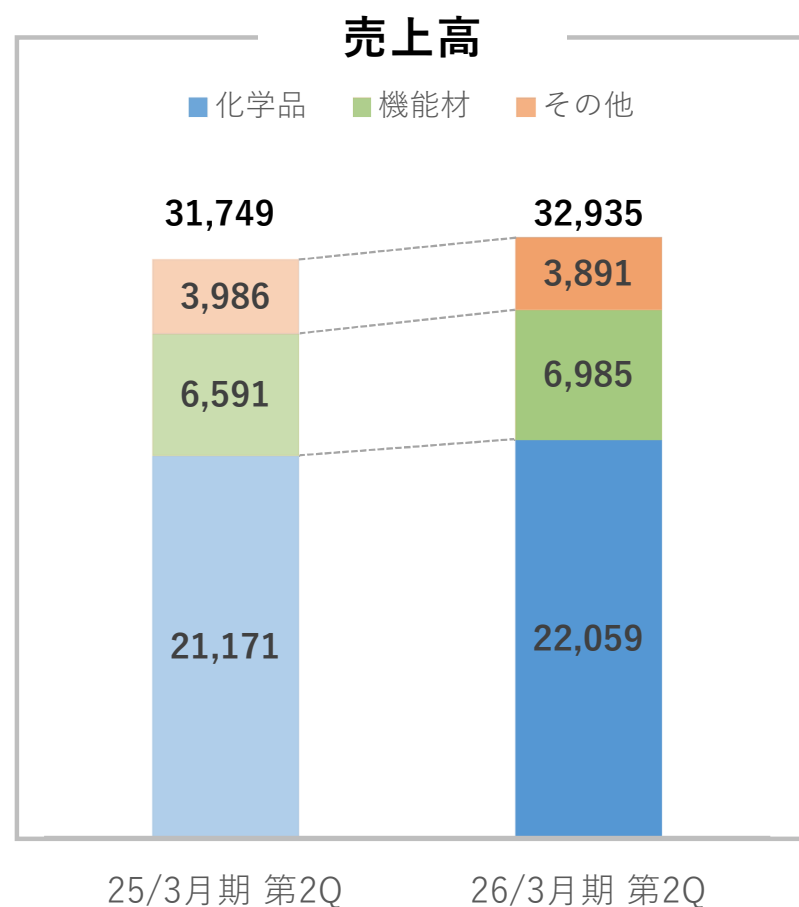
増収・増益

機能材事業

増収・増益

その他事業

減収・増益



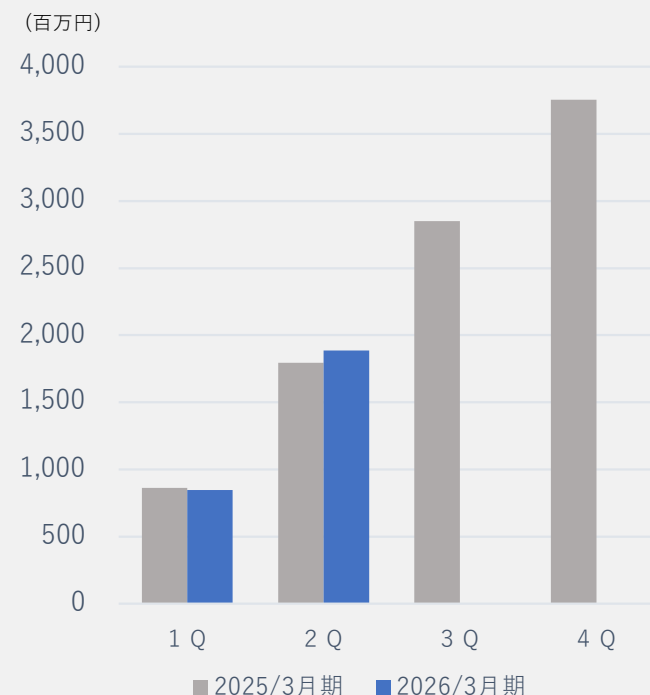
(単位：百万円)

※セグメント利益の合計（2,422）と、営業利益（1,187）の差額は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

(単位：百万円)	2025/3月期 第2四半期	2026/3月期 第2四半期	増減額	増減率
売上高	21,171	22,059	+ 888	+ 4.2%
セグメント利益	1,795	1,887	+92	+5.1%
利益率	8.5%	8.6%	-	-

- ソーダ関連薬品は、主力のか性ソーダはエレクトロニクス業界向けが取引増加の一方、化学業界向けは取引減少。塩酸はエレクトロニクス業界向けが好調、塩素酸ソーダは新規案件の受注により取引増加。
- その他の無機薬品は、アルミニウム化合物が自治体向け水処理剤の新規受注等により取引増加。
- 有機薬品は、製紙用塗工剤が特需やシェア拡大により取引増加。
- その他の商品群では、トイレタリー関連商品が日用品・ペット用品向けの受注好調。

【四半期ごとのセグメント利益推移】

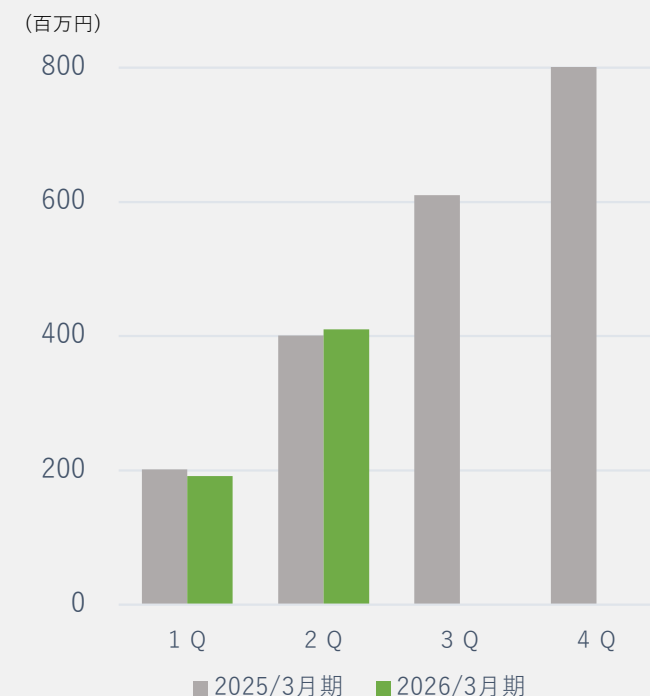


セグメント状況：機能材事業

(単位：百万円)	2025/3月期 第2四半期	2026/3月期 第2四半期	増減額	増減率
売上高	6,591	6,985	+ 394	+6.0%
セグメント利益	401	410	+9	+2.3%
利益率	6.1%	5.9%	-	-

- 包装関連商品は、包装関連機器が海外向け案件受注により取引増加。複合フィルムは食品向けの販売好調により取引増加。一方、ナイロンフィルムは中国向け需要の減少により取引減少。
- 合成樹脂関連商品は、工業用製品は工作機械用部品の受注伸長により取引増加。一方、ガラス短繊維は輸送機器用途での案件減少により取引減少。
- 設備・工事・産業材料は、排ガス処理装置が受注増加の一方、回転機器は取引減少。

【四半期ごとのセグメント利益推移】

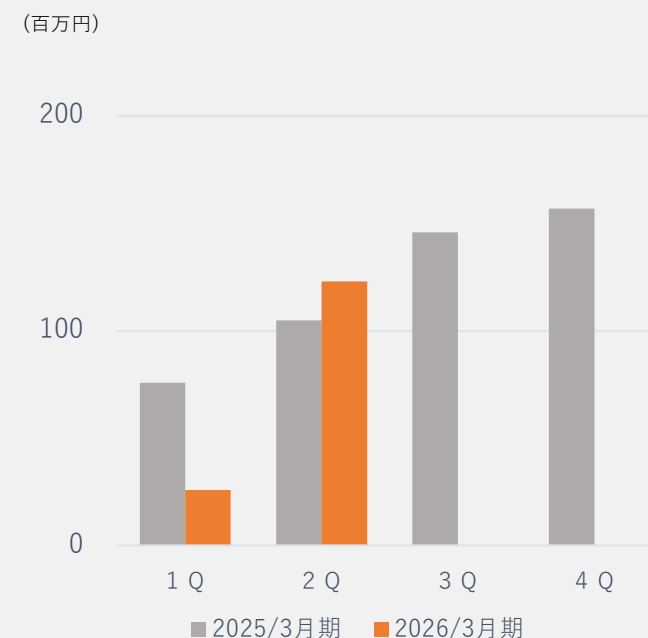


セグメント状況：その他事業

(単位：百万円)	2025/3月期 第2四半期	2026/3月期 第2四半期	増減額	増減率
売上高	3,986	3,891	▲95	▲2.4%
セグメント利益	105	123	+18	+16.7%
利益率	2.6%	3.2%	-	-

- 国内連結子会社は、
 - ・ (株)野津商店で倉庫修繕に伴う費用が発生。
 - ・ 一方、モリス(株)ではカメラアクセサリ商品の取引が好調に推移したこと等により増益。
- 海外連結子会社は、
 - ・ 中国において、一部日本向け化学品の取引が減少となった。

【四半期ごとのセグメント利益推移】



連結貸借対照表

(単位：百万円)	2025/3月期 期末	2026/3月期 第2四半期	増減額
流動資産	51,247	52,168	+ 921
現金及び預金	7,231	8,177	+ 946
受取手形、売掛金及び契約資産	41,608	41,677	+ 69
商品及び製品	1,442	1,499	+ 57
その他	966	814	△152
固定資産	21,952	23,706	+ 1,754
有形固定資産	7,135	6,982	△153
無形固定資産	263	351	+ 88
投資その他の資産	14,553	16,371	※① + 1,818
資産合計	73,200	75,874	+ 2,674
流動負債	39,390	39,512	+ 122
支払手形及び買掛金	33,351	33,215	△136
短期借入金	3,165	3,661	+ 496
その他	2,873	2,634	△239
固定負債	4,274	4,870	+ 596
負債合計	43,664	44,383	+ 719
株主資本合計	22,880	23,612	+ 732
その他の包括利益累計額	6,655	7,878	※② + 1,223
純資産合計	29,535	31,491	+ 1,956
負債純資産合計	73,200	75,874	+ 2,674

【変動要因】

■ 投資その他の資産（※①）

⇒ 保有有価証券の時価評価額上昇により増加

■ その他の包括利益累計額（※②）

⇒ その他有価証券評価差額金の増加

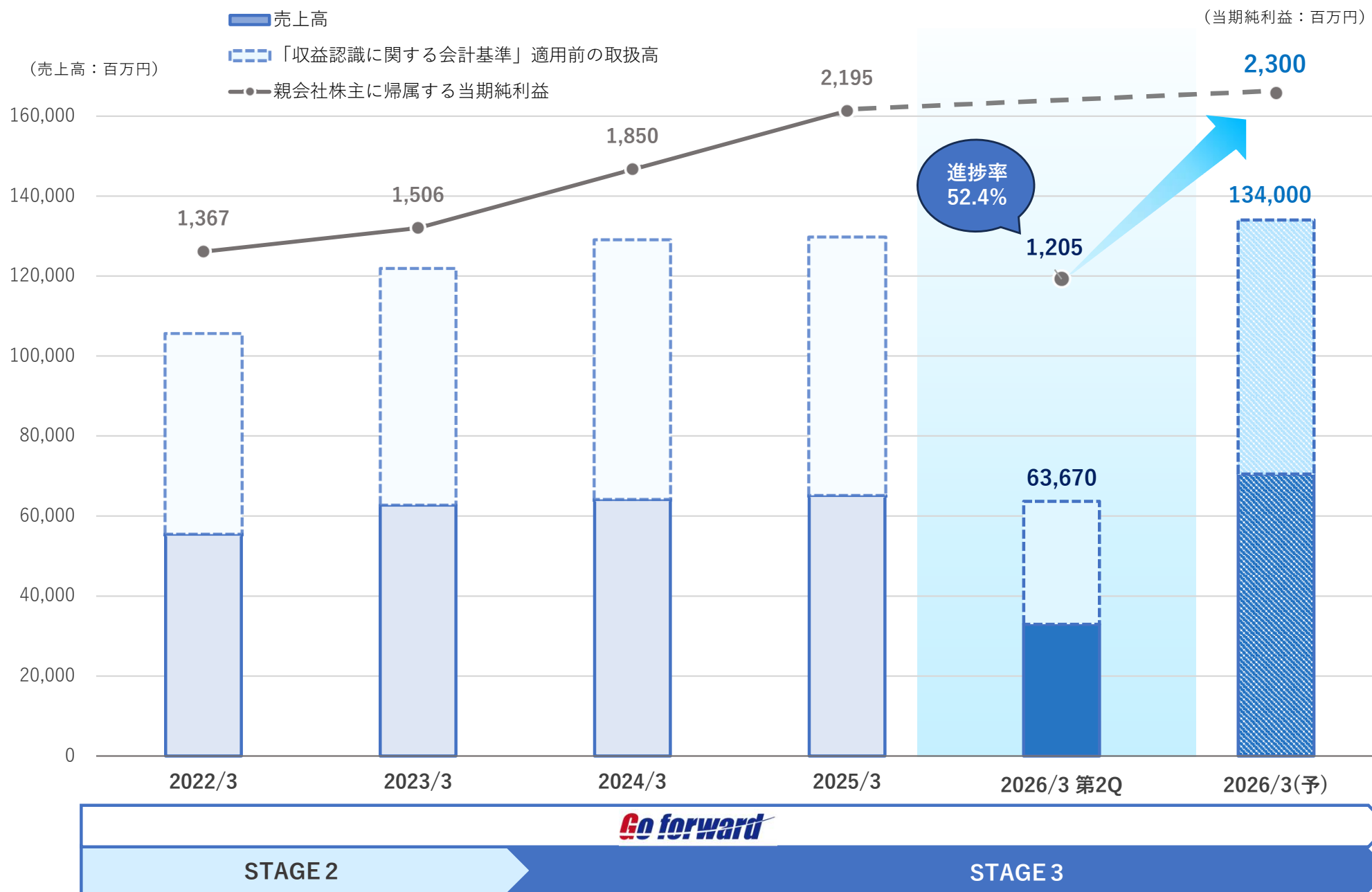
通期業績予想は修正無し。以下の主要因から、増収増益を見込む

- 化学品市況の安定が見込まれる中、下期も無機薬品は堅調に推移する見通し
- 機能材セグメントにおいて下期に包装関連機器の案件を予定
- (株)日本包装の投資に伴う減価償却費は、下期より前年同期比での差額が解消される見込み

(単位：百万円)	2025/3月期 通期	2026/3月期 通期予想	前期比		2026/3月期 2Q実績	進捗率 (対通期予想)
			増減額	増減率		
売上高	65,146	70,500	+5,354	(+8.2%)	32,935	46.7%
営業利益	2,109	2,340	+231	(+10.9%)	1,187	50.7%
経常利益	2,477	2,670	+193	(+7.8%)	1,424	53.3%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	2,195	2,300	+105	(+4.8%)	1,205	52.4%

※増減率は前年同期比

業績推移



※ 22年3月期以降「収益認識に関する会計基準」を適用

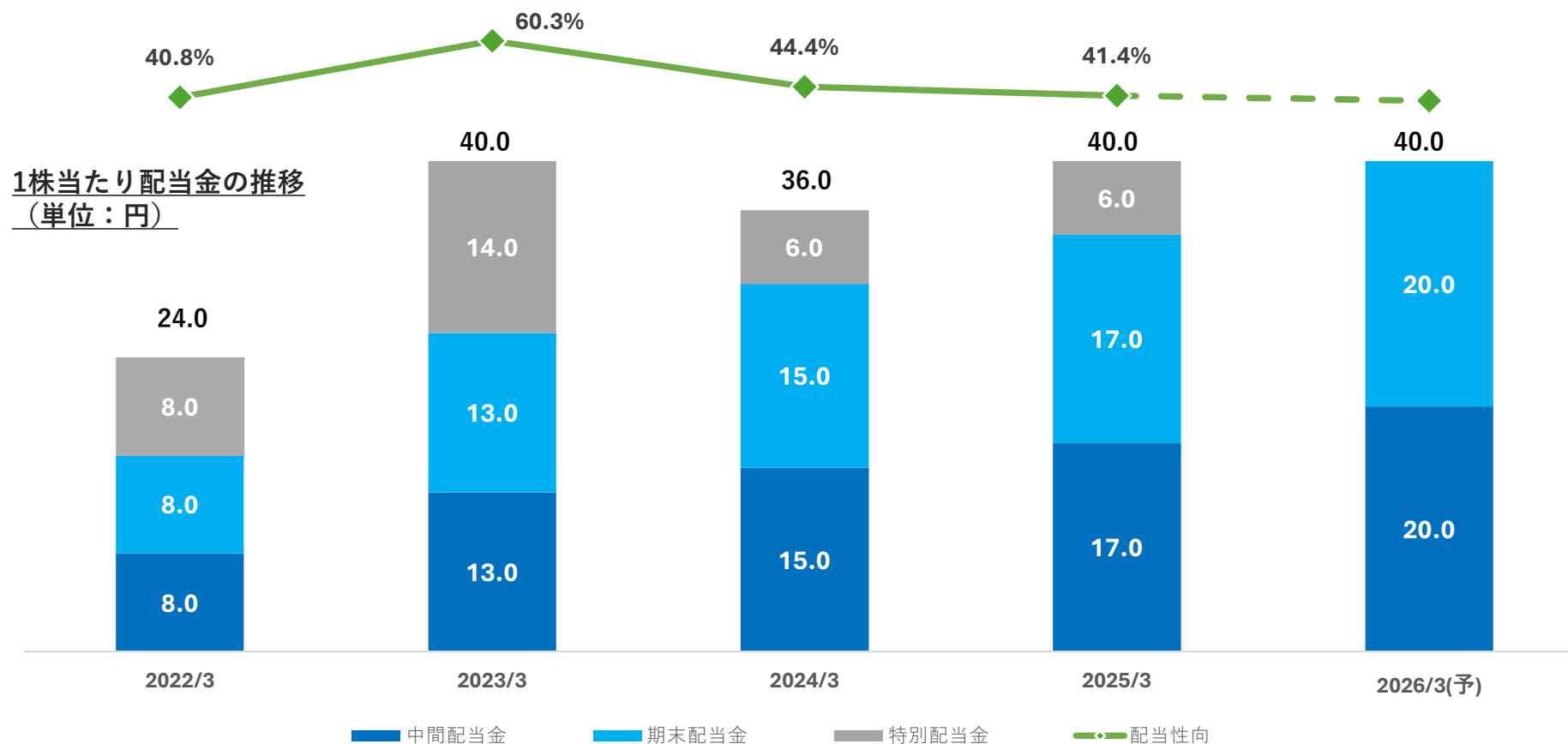
株主還元状況

【2026年3月期 配当予想】

- 期初予想からの変更なし
- 普通配当として、中間/期末 共に20円の配当を予想

【株主還元方針】

中期経営計画「Go forward STAGE3」の期間中において配当性向40%以上の定常化



免責事項

本資料の内、業績見通し等は、現在入手可能な情報による判断及び
仮定に基づいたものであり、判断や仮定に内在する不確定性及び
今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、
実際の業績等が目標と大きく異なる結果となる可能性があります。

お問い合わせ先

 **ソーダニッカ株式会社**

経営企画・IR部

✉ sn-ir@sodanikka.co.jp

<https://www.sodanikka.co.jp>